

写真撮影要領（参考）及び撮影頻度

工種	項目	適用
	施工前	
	施工後	
人孔工	掘削積込状況	
	山留設置状況	掘削深さ1.5m以上の時、また、1.5m以内でも土質の不良等により崩落の危険がある場合は山留めを行うこと。（建設工事公衆災害防止対策要綱等参照）
	床付け出来形	深さは丁張りから管理すること。
	砕石基礎出来形	20cmの厚みがわかるように、丁張りから管理をし撮影すること。
	ブロック設置状況	各ブロックの設置状況を撮影すること。
	コーキング状況	各ブロックの接合部（コーキング）を撮影すること。
	可とう継手設置状況	
	蓋設置状況	調整駒、無収縮モルタルを使用し設置すること。
	蓋設置完了	
	埋戻し状況	20cmごとに転圧し、各層ごとに撮影すること。
	埋戻し完了	
管きょ工	掘削積込状況	
	山留設置状況	掘削深さ1.5m以上の時、また、1.5m以内でも土質の不良等により崩落の危険がある場合は山留めを行うこと。（建設工事公衆災害防止対策要綱等参照）
	床付け出来形	深さは丁張りから管理すること。
	砂基礎出来形	10cmの厚みがわかるように、丁張りから管理をし撮影すること。
	管きょ布設状況	
	管きょ布設完了	
	砂埋戻し完了	管頂10cmがわかるように撮影すること。
	埋戻し状況	20cmごとに転圧し、各層ごとに撮影すること。
	埋戻し完了	
	インバート改修状況	
	インバート改修完了	
取付管工	掘削積込状況	
	山留設置状況	掘削深さ1.5m以上の時、また、1.5m以内でも土質の不良等により崩落の危険がある場合は山留めを行うこと。（建設工事公衆災害防止対策要綱等参照）
	削孔状況	削孔機で穴あけをし削孔破片も撮影すること。
	支管取付け状況	樹脂系接合剤または塩ビ管用接着剤の塗布が確認できるように撮影すること。
	支管取付け完了	番線あるいはステンレスバンドで固定すること。
	砂基礎出来形	砂基礎（厚10cm）の厚さが確認できるように撮影すること。
	取付管布設完了	
	土被り計測	道路と宅地の境界で道路計画地盤高からの土被りを計測すること。
	砂埋戻し完了	管頂10cmがわかるように撮影すること。
	埋戻し状況	20cmごとに転圧し、各層ごとに撮影すること。
	埋戻し完了	
	柵番号撮影	宅内柵の蓋の柵番号が確認できるように撮影すること。（蓋のアップ写真）
	取付管完了写真	舗装、L形、柵が見えるように撮影すること。

撮影頻度

人孔工		3箇所につき1箇所
		※耐震可とう継手については、全箇所撮影すること。
管きょ工	基礎及び埋戻し状況	人孔間1箇所
	配管状況	適宜
取付管工		5箇所につき1箇所
		※配管状況・土被り（DP）は全箇所撮影すること。